

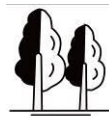


建て替えだより No.2

2015年4月 町田市

□「建替市民会議」を開催します

2014年4月発行の「建て替えだよりNo.1」でお知らせした後、約1年が経過しました。このたび、建て替え計画検討の条件が整い、地域の代表者や学識経験者による「玉川学園コミュニティセンター建替基本計画策定検討委員会」での検討と並行し、地域の皆様の意見をお聞きする場として「建替市民会議」を下記の通り開催します。



□参加者を募集します

「建替市民会議」は、昨年4月に参加者を募集しました。その後、状況の変化に伴い開催できずに現在に至りましたが、あらためて開催するに当たり、より多くの方に参加していただくため、下記の通りの開催方法に変更しました。お気軽に参加していただけますようお願いいたします。なお、昨年ご応募いただいた方には別途ご案内しています。

①1回限りでも参加できます

・話し合いのテーマを大きく2つに分け、同じ内容で曜日を変えて2回開催します。

②グループに分かれて気軽に話しあいます。

・30人程度を定員としますが、堅苦しい会にならないよう10人以下の少人数のテーブルで自由に意見を出し合います。なお、ご意見は匿名の意見として扱い、個人にご迷惑のかかることはありません。

③今回だけでなく、設計段階でも意見反映の機会を設ける予定です。

・今回は、基本計画(施設の基本的あり方)を話し合う機会ですが、設計者が決まり、具体的に設計を進める段階でも意見をお聞きする機会を設ける予定です。

■玉川学園コミュニティセンター建替市民会議の内容・日時等■

①	第1テーマ 施設の 中身 を考えます	5月20日(水) 午後7時~午後9時	町田市庁舎 2階市民協働お うえん広場	若者、子育て世代、高齢者 など各世代にとって、どん な部屋・スペースが必要か、 また部屋相互のつながり方 等を話し合います。
	~センターでどんな活動がし たいですか、どんな部屋がほ しいですか~	5月24日(日) 午前10時~正午	玉川学園さく らんぼホール	
③	第2テーマ 施設の まわり を考えます	6月24日(水) 午後7時~午後9時	町田市庁舎 2階市民協働お うえん広場	施設利用の便利さ、地域へ の役立ち(バリアフリー、駐 輪場等)、さらに建物の姿・ 形、駅前の景観や緑などの あり方を話し合います。
	~センターは、地域に対して どうあればいいですか~	6月28日(日) 午前10時~正午	玉川学園さく らんぼホール	

【会場】 町田市庁舎 2階市民協働おうえん広場

所在地：町田市森野2-2-22(町田駅から徒歩約8分)

玉川学園さくらんぼホール

所在地：町田市玉川学園3-35-45(玉川学園駅から徒歩約5分)

市民会議への参加申
し込み方法は4面を
ご覧ください。

基本計画検討の前提となる「基本方針」

「玉川学園コミュニティセンター建替基本方針」のあらまし(抜粋)

建替基本方針は、町田市呼びかけで、地域の各種活動団体の代表者が集まって2012年3月にまとめられたものです。建て替えに当たっての考え方を示すもので、基本計画検討に当たって基礎となります。

1. 現施設の抱える課題

- ①老朽化（耐震性）：築37年が経過し(2012年3月現在)、建物の老朽化が進んでいる。また、耐震性が懸念される。
- ②バリアフリー：建物としてハンディキャップに対応できていない。また、斜面地にあるため、ハンディキャップに対応するための改修が困難となっている。
- ③狭隘(きょうあい)：地域住民の活発な活動に対してその活動拠点としての機能を十分に提供しきれていない。特にホールについては、その狭さゆえにコミュニティ活動が制約される傾向が見られる。

2. 建替の基本方針

(1) 建設地

『現在地』

○センターの建て替えに際しては、現在地が玉川学園地区のほぼ中心に位置すること、駅から近いこと、センターが長年にわたり現在地で親しまれており、現在地での建替を前提とする。

(2) 規模

『敷地：現有地＋隣接駐輪場』 『建物：機能に見合った適正な大きさ』

○駐輪場の敷地を利用した場合も駐輪場が併設（規模は未定）されることとなるため、地域センターとしては依然として小さな規模とならざるを得ない。また「現有地＋駐輪場」では、施設へのアクセス、特に現在階段のみとなっている駅前方面からのアクセスについて、特段の工夫を必要とする。

○そこで、新センターをより充実させるべく、さらに建物面積拡大（＝敷地面積拡大）の方策を検討し、隣接地の地権者へも働きかけていくこととする。

(3) コンセプト

『◎「受け皿」から「受け皿＋発信基地」へ』 『◎地域のまちづくりに貢献する拠点』

○これからは地域住民の文化活動の「受け皿」としての機能だけでなく、地域活動や地域の文化の「発信基地」としての機能も持つセンターを目指していく。

○新しいセンターが地域自らが地域のまちづくりを考えるための拠点としての役割を担っていくことを想定する。

○さらに、将来的に、新しいセンターでは、駅前至近の立地を最大限に活かす「広い地域の交流拠点」も目指していく。

(4) 機能

『現状＋独立した行政窓口＋多目的空間』(地域センター＋児童図書室＋駅前連絡所＋多目的機能スペース)

①地域センター・児童図書室

○ホールについては、さまざまな用途で幅広く利用されており、利用者の関心が高いことから、計画段階で十分に議論していくこととする。

○児童図書室では、利用ニーズに応えるため、書架の増設や閲覧スペースの充実を図っていく。

②駅前連絡所

○証明発行窓口を駅前連絡所へと転換した場合、かなりの利用者増が見込まれる。そこで、証明発行窓口機能の利便性を高めて、夜間、休日に利用できる駅前連絡所機能へと拡充を図っていく。

③多目的機能スペース

○新しいセンターには、情報発信や地域のまちづくりに利用できる多目的機能スペースを設置することを目指すしていく。(だれもがいつでも利用できる「フリースペース」、地域活動団体の拠点となる「コミュニティスペース」など)

(5) 利用者

『地元住民が中心』

○センターが地域の活動拠点であることに変わりはなく、今後も地元住民の利用が中心となる。

○将来的には「広い地域の交流拠点」として、他地域との交流も視野に入れることとする。

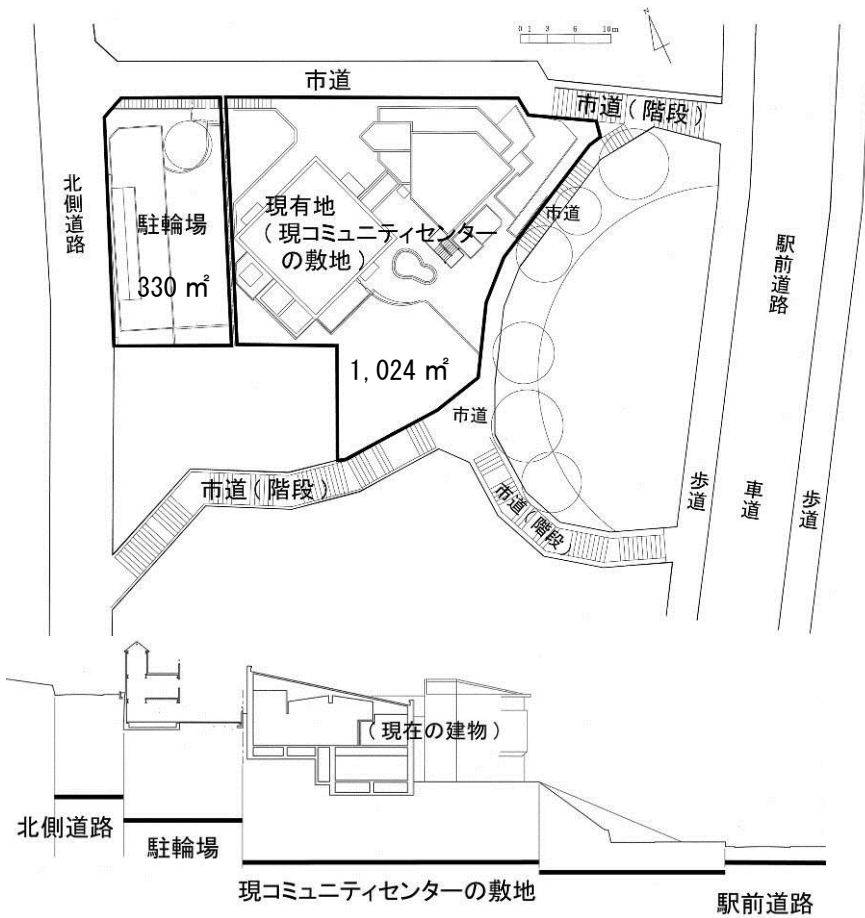
玉川学園コミュニティセンターの現状



北側道路からコミュニティセンターの横を通り、階段道路に至る急傾斜の坂道



駅前道路からコミュニティセンターまでの階段道路



現コミュニティセンターの証明発行窓口、児童図書室。



現コミュニティセンター2階のロビー

現コミュニティセンターの概要

建築面積	348 m ²
延床面積	595 m ²
構造・階数	鉄筋コンクリート造・3階建て
建築年	1974年 (増築：1991年)
地域センター	ホール(100人) 会議室：3室 和室：1室 いこいの間：1室
証明発行窓口	証明、母子健康手帳交付等
児童図書室	

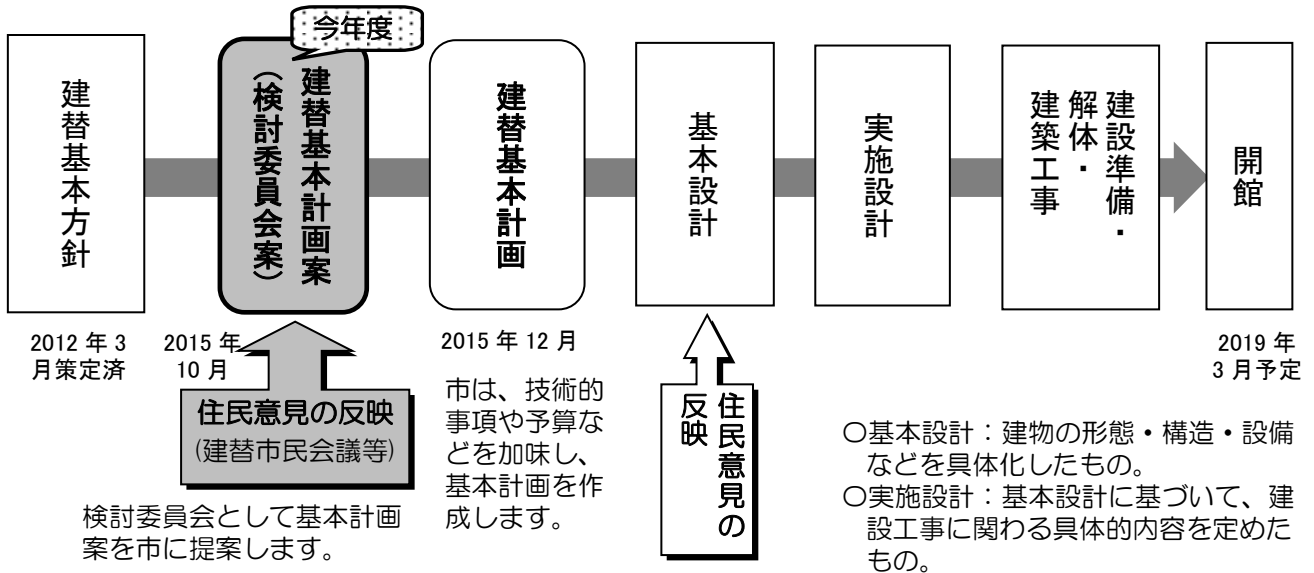


もう少し広くとの要望も多い現コミュニティセンターのホール

玉川学園コミュニティセンター建替の全体スケジュール(予定)

建替の基本的な内容を示す「建替基本計画」は、住民意見を反映した検討委員会の提言をもとに2015年度中に作成します。その後、設計者を選定し具体的に「基本設計」「実施設計」に進みます。なお、基本設計段階でも市民会議を継続するなど、設計者とのやりとりの機会を持ち住民の意見を反映していく予定です。

開館は、順調に進めば2019年3月を予定しています。



お申し込み、連絡先：町田市市民部市民総務課(担当：三好、高橋)

〒194-8520 町田市森野2-2-22 TEL042-724-4346 FAX050-3085-6551
e-mail:mcity1470@city.machida.tokyo.jp

建替市民会議のお申し込み方法

□応募資格：町田市内に在住・在勤・在学の16歳以上の方。

※定員：各回30人程度(申し込み多数の場合は、年齢構成等をもとに選考することがあります)

□応募方法：**5月11日までに**、郵送・FAXまたはeメールで、下記申込書を参考にお申し込みください。

申込用紙のひな形です。(この部分をコピーして郵送やFAXしていただいても結構です。)

玉川学園コミュニティセンター建替市民会議参加申込書

参加できる日 ※空欄にチェックを	①	第1	5月20日(水)午後7時～9時	町田市庁舎2階				
	②	テーマ	5月24日(日)午前10時～正午	玉川学園さくらんぼホール				
	③	第2	6月24日(水)午後7時～9時	町田市庁舎2階				
	④	テーマ	6月28日(日)午前10時～正午	玉川学園さくらんぼホール				
お名前				性別	男	女	年齢	
住所(ご自宅)				在勤・在学の場合は、勤務先・学校の名称と所在地住所				
電話番号	()							
コミュニティセンター建て替えに関するご意見などありましたらお書きください。								

申し込みいただく際の項目をお示したもので、この用紙でなくても結構です。